

①石の資料館〈採石道具の展示〉

公園内の5棟の石工小屋を再現した展示室には、石の切り出しに使われた〈大げんのう〉や運搬用に使われた〈猫車〉、加工用に使われた〈のみ〉などの展示。写真やパネルで〈石材業の歩み〉など解説している。また、石加工の体験コーナーもある。

③小海残石群

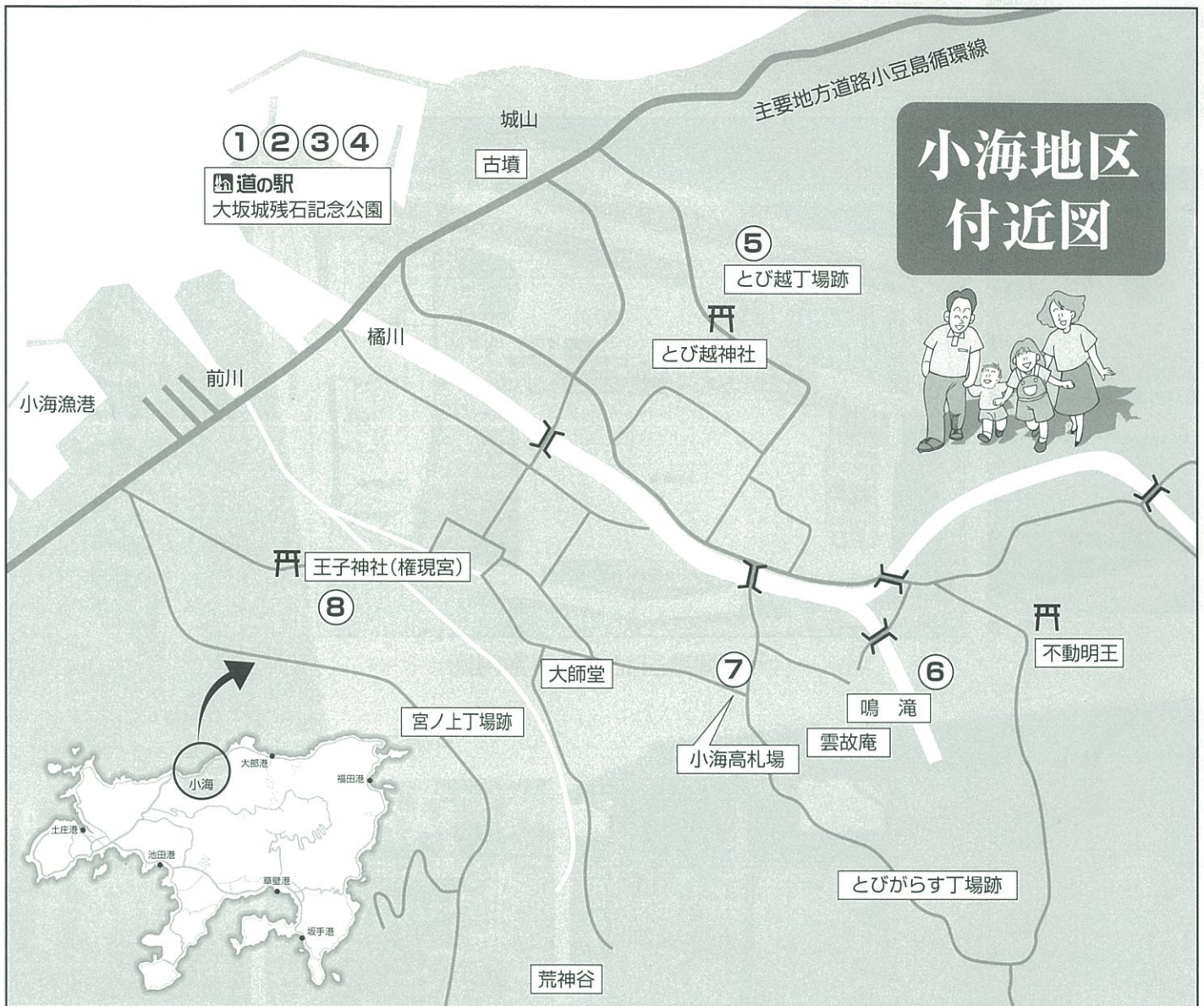
公園内に一列に並べられた縦2m、横1m、高さ1m程もある40個の残石群の内、ほとんどに刻印があるが風化が激しく判別が難しくなっている。「八百九の内」やいろいろな符合の刻印を見ることができる。

②舞台棟・收藏棟

小海地区にあった農村歌舞伎舞台を再建し、町文化財に指定されている歌舞伎衣装の展示や小豆島の石・化石等を展示している。

④屋外展示

屋外には、石の運搬に使われた修羅（陸上輸送）を再現展示している。



⑤とび越丁場跡〈県指定史跡〉

とび越神社の北西隣にある。今も当時の大坂城用の石垣石やそげ石が残されている。豆腐形の残石には「八百九の内」の刻印や「△」の刻印がみられる。大坂城石垣石の刻印と同じものであり、当地がその出所であることを物語っている。

⑦高札場

郡内で唯一江戸時代の「高札場」が残されている。この高札場は、藩政時代庄屋が代官所の命令や布告の事項を庶民に周知する掲示場であった。

⑥鳴滝

高さ12m、滝口2m。付近に堂庵があり、水が豊かなときの漢状は独特の景観をもっている。その漢音は麓まで響き渡るところから鳴滝の名がつけられたと言われる。

⑧王子神社〈県指定記念物〉

小海バス停から南東へ100mほど。以前ここに地芝居の舞台があったが火災に遭い現存していない。この社叢は暖湿帯性の常緑広葉樹が主体にサカキカズラなど多種の植物が県下でも珍しく自然の状態で保存されている。